

# 白石市民団が札幌市白石区を訪問

札幌白石親交会・白石区ふるさと会交流40周年



1\_白石区役所の庁舎移転に合わせて白石区の開拓期から白石村が札幌に編入されるまでの歴史を紹介する白石郷土館が、平成28年11月7日に白石区複合庁舎1階にオープン 2\_甲冑工房片倉塾が紙で製作した火縄銃も展示されている 3\_白石郷土館が入る新しい複合庁舎は、地上7階建て。地下2階では地下鉄東西線白石駅と直結している 4\_白石入植から開拓、発展のあゆみをパネルで紹介。区民のルーツをたどる貴重な資料が展示されている 5\_郷土館に入ると片倉塾製作の紙甲冑が威風堂々と来場者の目を引きつける。

1



5



2



4



3

## じょうかまち 城花町しろいし

☎生涯学習課 ☎22-1343 ☎24-5377  
con-edu@city.shiroishi.miyagi.jp http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/soshiki/30/888.html

今月、平成28年度「みやぎ花のあるまちコンクール」で「優秀賞」を受賞した、上郡山自治会館運営委員会の齋藤健会長と高子正一副会長に話を伺いました。

### ＊上郡山自治会館運営委員会＊

上郡山は自治会が2つに分かれているため、この「2つの自治会の相互交流の強化」と「子どもから高齢者まで協働」を旗印に両自治会員で組織する上郡山自治会館運営委員会が、平成27年度から白石市まちづくり交付金を活用し、国道113号沿いの花壇に花の植栽を始めて、今年で2年目となります。

高子副会長は「1年で終了してしまうかと思っていた花壇整備でしたが、地区の皆さんから好評でした。地区のイベントの時には、子どもからも『花壇をどうするの?』と聞かれて、子どもも花壇に関心を持ってきているのだと驚きましたし、とてもうれしかったです」と話してくれました。

この花壇には2つの特徴があります。まず、1つ目は除草剤や、殺虫剤などを一切使用していないことです。除草した草類を堆肥にして次に使うようにして、環境に優しく花壇を維持しています。2つ目は、購入した花苗だけではなく、地域の方が家庭で育てている花々を持ち寄ってもらい、「ふれあい花壇」と名付けた花壇と一緒に植えていることです。

これらの取り組みが高く評価され、「みやぎ花のある

まちコンクール」優秀賞の受賞へとつながりました。皆さんが関心を寄せる花壇は、毎月1回、朝5時から約1時間半の草取りに約30名以上が参加しています。定期的なもの以外にも、この活動に積極的な方が、自主的に、花壇の前後約150mの法面などもきれいにしています。そのおかげで、以前はたくさんあった放置ゴミも今ではなくなったそうです。

また、地区がきれいになったこと以外にも、うれしいことが起こっているそうです。それは、地区の人たちの交流が深まったこと。齋藤会長は「花壇の整備・維持に多くの方が携わってくださり、交流が増えることによって老人会の加入も増えています。よく、遠くの親戚より近くの他人と言いますが、まさにその通りだと思っています。この事業を通して、困ったときに助け合える関係づくりにつながっていると思っています」と笑顔で話してくれました。

この活動が続くポイントは「無理強ひすることなく、もしよかったら参加してみませんか?」の声掛けだそうです。あなたの地域でも、花と緑を活用したまちづくりを始めてみませんか。



2



1



4



3

1\_5月22日、地区の皆さんに声掛けをして行った花の苗植え活動には、幼い子どもも参加しました 2\_地区の方が自宅で育てた花々を、自由に持ち寄って植栽できるスペース「ふれあい花壇」の除草作業を行う地区の方々 3\_11月30日、齋藤会長と高子副会長が山田市長を訪れ、活動内容と受賞の報告をしました 4\_同コンクール優秀賞の賞状